

早池峰地域（^{にぎりさわ}握沢地区）の植生保護柵 網上げ作業を実施しました

令和7年8月4日

岩手県宮古市 ^{かどま}門馬山国有林 323 と林小班外

「早池峰山周辺森林生態系保護地域」周辺では、ニホンジカによる希少植物の食害が拡大しており、貴重な植物への影響が懸念されたことから、関係機関や団体で構成される「早池峰地域保全対策事業推進協議会」と連携し、平成30年度から植生保護柵を設置しています。

この植生保護柵は、冬期間の積雪等による損傷を防ぐため網を地表に下ろす必要があります。毎年5月に網を上げ、10月に網を下ろす作業を行っています。

今年は、好天に恵まれた5月15日、昨年度に引き続き宮古市の協力を得て、自然公園保護管理員に同行いただき、当署職員10名とともに6箇所の網上げ作業箇所へ向かいました。



【植生保護柵網上げ作業の様子】



【鳥居をくぐり、次の箇所へ…】



【支柱に網をしっかりと固定】

早池峰山北麓の登山道「門馬コース」の握沢沿いを1時間ほど進むと最初の箇所に到着します。ここでは、植生保護柵設置後、新たに発芽した保護対象種の小さな株があちこちに見受けられ、足元を慎重に確認しながらの網上げ作業となりました。

また、五合目の鳥居をくぐり、15分ほど登っていくと、昨年までかろうじて葉をつけていた保護対象種が、昨年度新たに植生保護柵を設置したことにより、この春は数輪の花を咲かせており、嬉しさを噛みしめながらの作業となりました。

取組の成果が感じられた一方で、早池峰山周辺では、依然としてニホンジカの生息数が多い状態が続いています。

今後も貴重な植物を獣害から守るため、地域の要望を踏まえ、関係機関等と連携を図りながら、効果的な獣害対策に取り組んでいきます。

（三陸北部森林管理署 佐々木）